

川崎重工業株式会社が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、川崎重工業株式会社が発行する第58回サステナビリティボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2021年7月15日）。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が①社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）および、②環境改善効果があること（グリーン性）の双方を有する債券です。

本債券による調達資金は、本法人が国際資本市場協会（ICMA：International Capital Market Association）のグリーンボンドおよびソーシャルボンド原則の枠組みに則り、フレームワークを策定し、そのフレームワークに基づいた持続可能な社会の実現に向けた適格プロジェクトである①自動PCR検査ロボットシステム普及に関する事業、②クリーン水素サプライチェーン構築に関する事業に充当する予定です。

また、本債券の発行にあたって策定した「サステナビリティボンド・フレームワーク」について、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、サステナビリティボンド・ガイドラインなどの原則との適合性に対する「セカンド・パーティー・オピニオン」を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上